

Title	生命保険の需要構造分析
Sub Title	
Author	伊藤馨 青井倫一
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1989
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1989年度経営学 第692号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001989-0692

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

No. 0692

学生氏名 伊 藤 倫 馨

主査 青 井 倫 一

副査 和 田 充 夫

所属ゼミナール 青 井 倫 一 研

池 尾 恭 一

生命保険の需要構造分析

本論文の目的は、日本の消費者の従来の生命保険に対する需要構造を分析し、また現在ならびに今後の消費者意識の変化を読みとることによって、日本での生命保険需要に起こるであろう変化を予測することにある。

アプローチとしては、生命保険という消費者には特性も価格構成も理解しがたい商品扱うにも拘らず、あえて消費者サイドから観察したときの生命保険の存在意義を考えるとという方法を採用した。

研究の方法は、先ず生命保険への加入の実態に関して従来からの調査と文献に当たり、次いで現代の消費者の生活意識の変化を分析するという方法を採用した。

その上で、今後の需要変化に対応するマーケティング・ミックスの提案と、現在の生命保険業界が抱えている問題点を示唆することにした。